

学生協働支援隊 東志和地域 活動報告書

【東志和について事前調査】

- ・ 日 時 : 2021年7月17日
- ・ 参加者 : 学生3名
- ・ 活動内容 : 東志和について、自治協議会の総会やまちづくり計画、小学校の沿革、第5次総合計画といった資料から事前調査を行った。

【住民とのヒアリング】

- ・ 日 時 : 2021年7月18日
- ・ 参加者 : 合計4名（学生3名、地域1名）
- ・ 活動内容 : 東志和でまちづくり活動を実践されている住民から活動の取組や地域の状況についてヒアリングを行った。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



ヒアリング後の振り返り

学生協働支援隊 東志和地域 活動報告書

【住民自治協議会とのヒアリング】

- ・ 日 時 : 2021年7月22日
- ・ 参 加 者 : 合計8名(学生5名、地域3名)
- ・ 活 動 内 容 : 東志和住民自治協議会の方とのヒアリングに向けて、事前に質問する内容を整理した。その後、地域センターへ移動し、小学校の跡地活用することについて意見や感想を伺った。今回の提案では、地域外から人を呼び込むことができる提案をする方向になった。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



質問内容を考える様子



学生が質問をする様子

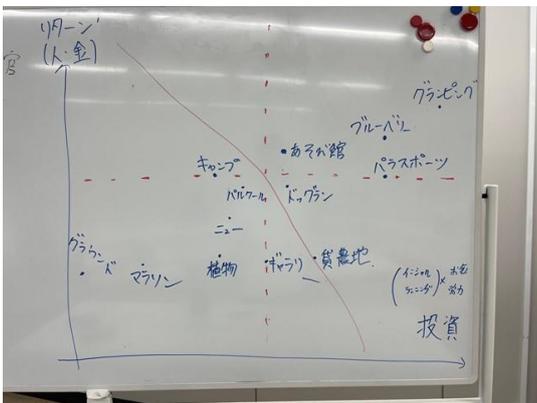
学生協働支援隊 東志和地域 活動報告書

【東志和小学校跡地活用アイデア出し】

- ・ 日時 : 2021年8月1日、8月6日
- ・ 参加者 : 学生5名
- ・ 活動内容 : オンラインで小学校跡地をどのように有効活用するのかについて話し合った。

【東志和小学校跡地活用アイデア出し】

- ・ 日時 : 2021年8月10日
- ・ 参加者 : 学生5名
- ・ 活動内容 : 各自考えてきた小学校の跡地活用の具体的なアイデアを発表し、4つのアイデアを提案することに決めた。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



アイデアをまとめている様子

【東志和小学校跡地活用資料作り】

- ・ 日時 : 2021年8月18日
- ・ 参加者 : 学生5名
- ・ 活動内容 : グループに分かれて、4つの提案内容の資料作成を行った。全国の好事例をもとに、オンラインや電話でのヒアリングで情報を集めた。

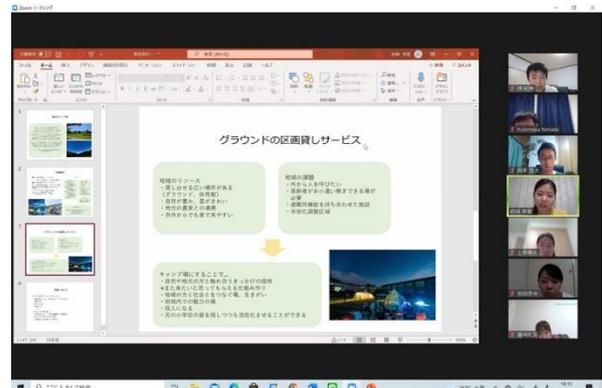
学生協働支援隊 東志和地域 活動報告書

【東志和小学校跡地活用アイデアブラッシュアップ】

- ・ 日時 : 2021年8月23日
- ・ 参加者 : 学生5名
- ・ 活動内容 : 作成した資料を共有し、内容の確認や付け加えが必要な内容について話し合った
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



提案内容を話す様子①

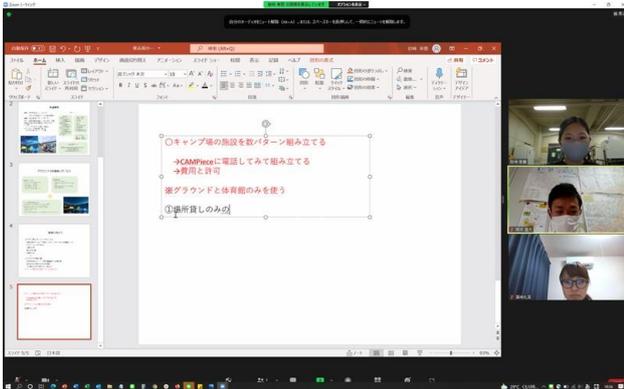


提案内容を話す様子②

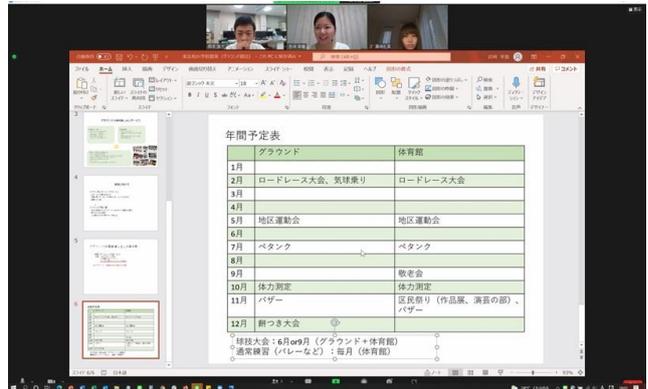
学生協働支援隊 東志和地域 活動報告書

【東志和小学校跡地活用資料作り】

- ・ 日 時 : 2021年8月31日、9月5日、9月13日
- ・ 参加者 : 学生5名
- ・ 活動内容 : 4つの案の資料作りを行い、提案する準備を進めた。なお、小学校は市街化調整区域ということもあり、実施をする上での制約がないか等を改めて確認した。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



打合せ風景①



打合せ風景②

学生協働支援隊 東志和地域 活動報告書

【東志和小学校跡地活用アイデア提案】

- ・ 日 時 : 2021年10月8日
- ・ 参 加 者 : 合計3名(学生1名、地域2名)
- ・ 活 動 内 容 : まとめた4つの案を東志和住民自治協議会へ提案した。対面での活動が難しかったため、資料提供と口頭で補足をした。

動の様子：写真の通り。



資料を説明する様子

学生協働支援隊 東志和地域 活動報告書

【東志和小学校の跡地活用に関するアイデアの提案】

- ・ 日 時 : 2021年11月2日
- ・ 参 加 者 : 約30名(うち学生3名)
- ・ 活 動 内 容 : 東志和地域センターにて、東志和小学校廃校後の跡地活用に関するアイデアを、地域の方へ向けて発表した。アイデアは、地域の方へのヒアリング、他地域の先進事例の調査、学生間での話し合いをもとに考案・作成した。地域の方には、アイデアを前向きに受け入れていただけた。
- ・ 活 動 の 様 子 : 写真の通り。



考えたアイデアを発表している様子



発表した資料の一部

学生協働支援隊 東志和地域 活動報告書

【活動を終えての感想】

○全般について

- ・ヒアリングや事例を調べる過程、そして案をまとめ、発表するという経験がとても勉強になった。
- ・ヒアリングで地域の方に失礼のない範囲で様々な情報を引き出すには、質問力が大切であることを実感したとともに、勉強不足であることを痛感した。
- ・全国の事例を調べながら活用案をまとめていくことで、この地域での実現可能性のある提案ができた。
- ・第三者からの立ち位置から意見を述べるときに地域の人々の気持ちを知ったうえであくまでも第三者という立ち位置を確立することの難しさを痛感した。

○今回のテーマについて

- ・小学校が廃校になることで住民同士が交流する機会がとても減り、地域に大きな影響を与えることが分かった。
- ・活動をする中で廃校活用の成功事例を調べてそれと同じ様なことをするだけでは上手くいかないことも感じた。地域の資金や高齢化などの現状を踏まえて、活用方法を考えることが大事だと思った。
- ・活動する中で、小学校やそれを取り巻く環境が地域にとってとても重要だということに気付かされた。また、地域の方の東志和に対する様々な想いや考えがあり、その声を丁寧に聴きながら地域をより良くする提案を考えることは、難しく感じると同時にとても大切だと思った。
- ・小学校の廃校や統合の問題はどの地域も抱える問題であると知った。
- ・廃校を活用して新たに何かを始めるには、資金や担い手、土地など、考慮すべき点が多岐に渡るため、全てをクリアしながら成功へと導くことはとても大変であることを改めて感じた。
- ・小学校廃校、跡地活用の問題は他人事だと思っていたが、実際に関わる中で身近で起きていることだと感じた。